

発信する知の道具として英語を学ぶ

中高生プログラム通年開講一覧

<6年一貫> オールイングリッシュ・プログラム

■ 前期 SUPREME PROGRAM (中学生プログラム)

英語で考える英語学習は英語学習の最初期から行ってこそ、高い効果を期待できます。大人と同等の認知能力が備わり且つ言語習得能力が十分に機能する中学1年生は、その最適のタイミングといえます。小学校で英語をやっていようと英検を取得していようと、基礎の疎かな方は珍しくありません。基礎とは易しいということではありません。たとえば a と the。これが正しく使い分けられる方は、大学まで10年以上英語をやっていても決して多くありません。使い分けの基礎が出来ていないからです。あるいは関係代名詞、難しい文法事項の代名詞ですが、教え方が適切であれば中1生でも容易に使いこなせます。そういう英語全体の骨組みとなり、先に進むほど有用となる重要項目が本当の基礎事項。それらを早期にしっかりと身につけ、正確な文法と豊かな英語表現力を両立させる事を目標に、前期プログラムは組み立てられています。

◆ **LEVEL1** A1 (火) 17:40~19:30 A2 (木) 18:10~20:00 (オンライン)
(週2) B (土) 18:00~21:00 <A1, A2 は選択>

英語で理解し英語で考えるための基礎プログラム。聞き話し読み書く4技能が高いレベルでバランスよく鍛えられ、長文読解とライティングに必須となる「英語で考えて英語を使う」基礎学力がしっかりと身につきます。 <中1以上>

使用教材： English Through Pictures (EP) Bk.1-2

◆ **LEVEL2** A1 (火) 19:40~21:30 A2 (水) 17:50~19:40 (オンライン)
(週2) B1 (日) 14:00~17:00 B2 (月) 18:00~21:00 <A, B 各1選択>

中学レベルの語彙と構文を年度内にほぼ終了します。後半に行う多読・速読指導は粗雑な飛ばし読みとは似て非なるもの。「英語で考える」からできる、速く正確な本物の読解力です。 <中2以上>

使用教材： EP Bk.2-3, サイドリーダー 10冊

◆ **LEVEL3** (週1) (木) 18:00~21:00

英語論説文の情報構造を読み解く読解技術とパラグラフ・ライティングの基本を中学終了までに身につけます。語彙と構文の理解を深化する4技能トレーニングもおこたりません。サイドリーダーを毎週1冊読む多読演習は英語の基礎体力を最も確実に強化します。その相乗効果で、レベルによっては大学入試問題にも手が届きます。 <中3以上>

使用教材： EP Bk.3, Read This!, Longman Academic Writing Series 1 他,
サイドリーダー 30冊

■ 後期 SUPREME PROGRAM (高校生プログラム)

大学入試は通過点に過ぎません。後期プログラムは、前期プログラムで鍛え上げた英語の基礎を拡張し、生涯にわたって役立つ「知のツール」となる汎用性の高い英語のスキルを獲得することを目標に構成してあります。大学進学後は学術書に取り組む直接の準備となり、ビジネスを含むその後の社会生活では聞き話すことはもとより読み書くことにおいても、さまざまな専門領域にまで応用が効く、その意味で真に実用的な英語です。そこに至るまでに避けて通ることのできない大学入試には英語に関する限り、いわゆる「医学部英語」を含め万端の準備で不安なく臨めます。それが「英語で考える」英語の実力です。

◆ LEVEL4 (週1) (木) 18:00~21:00

このレベルがクリアできれば、共通テスト程度の英語長文は無理なく読めます。またリスニングは易しく感じることでしょう。ある程度は英語で話せ高校入試程度の英語長文が直読直解できる高1生に最適ですが、一語一句を和訳しなければ英語が理解できない場合は、まず直読直解の基礎訓練が必要です。 <高1以上>

使用教材： EP Bk.3, Longman Academic Reading Series 1, 2 他 サイドリーダー 20冊

◆ LEVEL5 (週1) (火) 17:40~21:00

大学入試が気になり始める時期ですが、何より重要なことは英語の基礎体力を充実させること。多彩なトピックに親しみながら読む英文のレベルを徐々に上げ量をこなして器の大きな骨太の英語力をまず作り上げ、そこに解答技術を加えて入試に臨むのが正しい戦略です。高得点の鍵は、英語長文の情報構造を正しく読み取る手順にあります。単語レベルで意味をつなぎ合わせるボトムアップに頼らず、コンテキストの全体を俯瞰し、その視点で部分を読み取るトップダウンで読むことが、長文読解には必須のスキルです。実際の入試でそれがどう役立つかは、授業に組み込まれた入試問題の演習が実感させます。課外のリーディングも語彙と構文を調整した学習用の Graded Readers から一般的な洋書ペーパーバックへとレベルを上げていきます。 <高2以上>

使用教材： Longman Academic Reading Series 2, 3 他, サイドリーダー/洋書多数

◆ LEVEL6 (週1) (水) 17:30~21:20

授業での使用教材は大学レベル。英語で書かれた専門書を読むにも十分なレベルの英語です。また James Patterson, John Grisham, Sydney Sheldon 等の現代的なベストセラー作品や Stephen Hawking, Yuval N. Harari 等の著名執筆者によるエッセイや教養書をサイドリーダーとして利用します。そうして鍛えられる圧倒的な長文読解力と深い洞察力は、ネイティブ講師によるエッセイ・ライティングと相俟って、東大・早慶・上位医学部を含む最難関英語入試に余力をもって臨む磐石の土台となります。 <高3以上>

使用教材： The Expanding Universe of English II (東大出版会), サイドリーダー/洋書多数